

「教育実習体験レポート」

[公立中学校 英語]

0. はじめに

私は、母校である中学校で9月7日～18日までの2週間、教育実習を行う。担当は、中学2年生の英語科であり、クラスは1. 2. 5組の3クラスを担当した。以下に教育実習を体験したレポートをまとめる。

1. 教育実習で苦勞したこと、辛かったこと、楽しかったこと、感動的なエピソード

私が苦勞したことは、2週間で20個の指導案と授業づくりを行ったことだ。2日目から授業を行い1、2、5組の英語科全授業を担当した。1日で1授業の日もあれば4授業担当することもあった。授業の冒頭部分では、LINE ゲームやビンゴゲーム等を行い生徒の興味を引くように毎授業工夫を取り入れた。その中で最終日には、50分間アクティビティを行うこととなる。現在、新型コロナウイルスの関係でペアワークやグループワークを取り入れた活動をするのは難しくソーシャルディスタンスを保った楽しい活動を考えるのは難しかった。しかし、指導教諭の助言を得つつ思考を重ねて行った。すると、普段は真面目に聞いてくれるクラスの生徒やそして自分までも楽しむことができ、思い出に残る授業を作ることが出来た。

更に、デジタルテキストブック、ICTを積極的に活用することに挑戦した。そこでは、デジタルテキストブックに頼り画一的な授業にならず自分らしさを取り入れることが課題として挙げられた。そこで私は、リフレクションシートの配布、ビンゴゲームの取り入れ、授業にまつわる雑談など様々なことに挑戦した。特に、初回の授業後にリフレクションシートを配り、生徒と正面から向き合う努力をした。配った意図は大きく2つある。一つは、授業は楽しかったか、分かりやすかったか授業の改善に活かすこと。二つは、2週間で生徒との距離をなるべく近づけるために何をすることが好きなのか授業の復習を兼ねて動名詞で書いてもらうこと。そこから、クラス全員或いは他のクラスの生徒にも休み時間に積極的に声をかけた。初めは関わり方が難しかったが慣れると生徒の方から声をかけてくれるようになり、学年やクラスを問わず沢山の生徒が話をしてくれるようになった。あるクラスにてリフレクションシートで野菜のきゅうりが好きなことを把握していたため、授業できゅうりが出てきたときに指名した。すると指導教諭の先生から、「あそこでYさんを当てたのは素晴らしい。それこそあなたが実習でこのクラスを担当する意味がある。先生として一番大切なことが出来ていた。」と褒めて頂いた。確かにこれは、生徒の特長をしっかりと抑えていないとできないことであり、指名された生徒もきっと嬉しかったのではないかと考える。リフレクションシートに一人一人コメントを書いて返すことや、何回も読んで生徒の特長を覚えることに多くの時間を使ったが苦には感じなかった。むしろ楽しみながらしている自分がいた。今回褒めていただいた点は、今後先生を職とし

ていく私にとって忘れてはいけない大事な経験となった。リフレクションシートを取り入れた効果は存分にあったのではないかと感じる。

2. 教育実習で学んだこと、感じたこと、考えたこと。

私は正直、教育実習が始まる前に不安な気持ちが大きかった。何故なら、あまり関わったことのない中学生を前にどんな授業を展開したらいいのか話のスピードや内容の難易度はどこに合わせるべきなのか悩むことが多かったからである。しかし、実習を重ねるうちに指導教諭の先生のもとで成長して帰りたい。気づけばそんな期待の方が大きくなっていった。指導教諭の先生の魅力が至るところにあったからだ。授業、休み時間、放課後の様子から生徒との心の距離が近いと感じた。気づけば先生の周りは生徒で囲まれていたからだ。その理由には、いつでもオープンマインドな姿勢や、クラスリレーを決める際には速さではなくバトンの繋がりやすさや人間関係を意識しているところなど様々挙げられる。特に生徒指導をしている場面では、誰一人否定するのではなく、多面的多角的に生徒の気持ちを第一に考える様子からよくわかった。そして実習生の私にまでいつでもオープンマインドな姿勢を取って下さったからこそ、二週間真剣に学びつつ楽しく実習を終えることが出来た。毎授業後には、めあての表現の仕方（～しよう、できるようになろう）から英語の会話文や説明文の違い、アクティビティを作るときのコツ、提出したワークシートには細かいところまで一緒になって考え訂正して下さり、細かく指導して頂いた。その丁寧な指導は、私の原動力になっていたのは明らかである。そんな先生のもとで2週間学べたことは今後の強みになるに違いない。だからこそ、今後は小学校英語を先導して頑張りたい気持ちが強い。いつでも「小学校だったら〇〇だよね。」と中学校の視点だけでなく将来希望する小学校の立場で見下さることも数多くあった。小学校では、英語になれることを大前提に沢山発音して楽しく発言することを学ばせたい。小学校英語で培った基礎を中学校でも生かしてもらえるように、楽しく学べる授業づくりを行い次につなげていきたいと考える。